

2025(令和7)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

【選択科目：世界史探究】

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2025(令和7)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

【世界史探究】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の文を読み、後の問いに答えなさい。

ある高校の世界史探究の授業では、「日常生活からみる世界の歴史」の単元で、「あなたの身近なものが、世界の歴史の中でどのように存在したのかを調べなさい」という課題が出されました。

Aさんは、グループのメンバーと相談して、「世界の歴史のなかの学校」というテーマを設定して、次のような発表文を作成しました。

【発表文】 世界の歴史のなかには、さまざまな学校がありますが、代表的なものをいくつか説明します。

- (1) ①ギリシア文化を継承した②ヘレニズム文化では、③ギリシア世界とは異なる哲学が発達し、ゼノンやエピクロスは自らの学園を開きました。
- (2) フランク王国の〔 ④ 〕によって招かれたアルクインは、アーヘンの宮廷学校の校長となり、ラテン語の文法・算術・天文学・神学などを教えました。
- (3) イスラーム世界では、11世紀以降、⑤イスラーム諸学を教育し、ウラマーを育成するために、マドラサ（学院）が各地につくられました。
- (4) 中世西ヨーロッパでは、修道院や司教座附属学校で教授されていた学問が、都市の発展とともに、⑥教師と学生の自治組織である大学で教えられるようになりました。

Aさんのグループの発表が終わった時、先生から「中世西ヨーロッパの大学は、どのような特徴をもった組織でしたか」との質問がありました。Aさんたちは改めて調べた結果、ある文献で次の説明を見つけました。

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。**

**問題文閲覧をご希望の方は、沖縄国際大学入
試センターまでお問い合わせください。**

〔出典：佐藤彰一・池上俊一『西ヨーロッパ世界の形成（世界の歴史 10）』中央公論社、1997年〕

問1 文中の下線部①について、ギリシア時代の哲学に関する次の各文のうち、誤りを含むものを1つ選び、記号で答えなさい。(3点)

- ア. 自然現象を合理的な根拠に基づいて説明しようとする自然哲学が始まり、ピタゴラスは万物の根源が水であると主張した。
- イ. アテネで直接民主政が発展したこととともなって弁論が重視され、ソフィストと呼ばれる弁論術の教師があらわれた。
- ウ. ソクラテスは真理の絶対性を主張し、その弟子であるプラトンはイデア論を主張した。
- エ. アリストテレスは諸学問を集大成し、のちのイスラームの学問や中世のスコラ学に大きな影響を与えた。

問2 文中の下線部②について、ヘレニズム文化の成立には、ヘレニズム諸王国の手厚い保護が関係しているが、ヘレニズム諸王国として適切ではないものを、次の中から1つ選び記号で答えなさい。(3点)

- | | |
|------------------|---------------|
| ア. アンティゴノス朝マケドニア | イ. セルジューク朝トルコ |
| ウ. プトレマイオス朝エジプト | エ. セレウコス朝シリア |

問3 文中の下線部③について、ボリスの粹にとらわれず、個人の内面的な幸福を追求しようとした思想的風潮を何と呼ぶか、答えなさい。(3点)

問4 文中の空欄④にいれるのに最も適切な人物を、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。
(2点)

- | | |
|-----------|--------------------|
| ア. クローヴィス | イ. カール＝マルテル |
| ウ. ピピン | エ. カール大帝(シャルルマーニュ) |

問5 文中の下線部⑤について、アッバース朝期のイスラーム諸学に関する次の各文のうち、誤りを含むものを1つ選び、記号で答えなさい。(3点)

- ア. アッバース朝期には、イラン、ギリシアなどの文化と、アラビア語が融合したイスラーム文化が成立した。
- イ. 言語学、詩学、神学、法学などは「外来の学問」と呼ばれた。
- ウ. インドからゼロの概念や十進法がとりいれられ、数学が発展したことにより、フワーリズミーは天文学や代数学の文献を著した。
- エ. インド、イランなどに起源をもつ説話がまとめられ、『千夜一夜物語』の原型がうまれた。

問6 文中の下線部⑥について、中世西ヨーロッパにおける大学が「自治組織」であることの特徴を、Aさんたちがみつけた文献の内容から説明してください。(6点)

Ⅱ. 下の地図は、1～2世紀の交易路を表したものである。この地図に関する後の問いに答えなさい。

**著作権承諾上の理由により、図の掲載は控えさせていただきます。
非公開部分については、沖縄国際大学入試センター窓口にて閲覧ください。**

〔出典：山崎元一『古代インドの文明と社会（世界の歴史 3）』（中央公論社、1997年）を基に作成〕

問1 この当時、北インドに存在したクシャーナ朝に関する次の各文のうち、誤りを含むものを1つ選び、記号で答えなさい。（3点）

- ア. クシャーナ朝は、イラン系のクシャーナ（クシャーン）人がたてた王朝である。
- イ. クシャーナ朝の最盛期は、アショーカ王の時代だった。
- ウ. クシャーナ朝は東西貿易で栄え、とくにローマとの交易がさかんだった。
- エ. クシャーナ朝は、大乘仏教を保護した。

問2 この当時に展開された「海の道」での交易で、南インドが輸出した商品として適切なものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。（2点）

- ア. 金貨 イ. ワイン ウ. ガラス エ. 綿布

問3 この当時の後漢に関する次の史料を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は控えさせていただきます。
問題文閲覧をご希望の方は、沖縄国際大学入試センターまでお問い合わせください。

〔出典：歴史学研究会編『世界史史料3 東アジア・内陸アジア・東アジアⅠ 19世紀まで』岩波書店、2009年〕

- (1) 下線部①の「大秦王安敦」として適切な人物を、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。
(2点)

ア. オクタウィアヌス帝

イ. トラヤヌス帝

ウ. アントニヌス＝ピウス帝

エ. マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝

- (2) 下線部②の日南を、地図中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。(3点)

Ⅲ. 次の文を読み、後の問いに答えなさい。

①ポルトガルの航海者が、1498年にアフリカ・喜望峰を經由してカリカットに到達した。このことにより、アジアとヨーロッパは直接海路で結び付けられることになった。

その後、ポルトガルは1510年にゴアを武力で占領し、さらに②中国から1557年にマカオの居留権を獲得することで、中国や日本との貿易に乗り出した。そして、ポルトガルは日本の平戸や長崎で貿易をおこない、中国の生糸や絹織物と日本の③銀を交換して多くの利益を得た。

ポルトガルはゴアの占領に続いて、1511年に④マラッカを占領し、ムスリム商人を排除してインドや東南アジアにおける⑤香辛料貿易の独占を目論んだ。しかし、ポルトガルの交易路独占に反発したムスリム商人やヒンドゥー教徒のインド商人はマラッカ海峡を避けてスマトラ島南岸沖を通る貿易路を開拓した。そのため、ポルトガルは東南アジア海域における香辛料貿易を独占することはできなかった。

問1 下線部①について、インド航路を開拓したポルトガルの航海者として適切な人物の名前を答えなさい。(3点)

問2 下線部②について、この当時の中国の王朝として適切なものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. 宋 イ. 元 ウ. 明 エ. 清

問3 下線部③について、次の各文のうち、この当時の銀に関する説明として誤りが含まれるものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(3点)

- ア. 日本の石見銀山で銀の採掘がはじまった。
- イ. スペインは南米のポトシ銀山を開発し、大量の銀がヨーロッパに流入した。
- ウ. メキシコ銀は、スペインがフィリピンに建設したマニラに運ばれ、中国との貿易に利用された。
- エ. 南ドイツ・アウクスブルクの銀山経営によって、メディチ家は大きな富を築いた。

問4 下線部④について、この当時のマラッカ王国や琉球王国のように、海上交易の要衝として発展した国家を何と呼ぶか、漢字4字で答えなさい。(3点)

問5 下線部⑤について、以下の文の空欄に入る適切な都市名を、下の記号の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。(各1点×4＝4点)

インドや東南アジアからの香辛料がポルトガルの〔 A 〕に集積し、そこからネーデルラントの〔 B 〕を経て商品化され、ヨーロッパ各地で販売された。香辛料貿易によって〔 A 〕、〔 B 〕の両都市は世界貿易の中心地として繁栄することになる。その一方で、それまで東方貿易の利益を独占していたイタリアの海港都市である〔 C 〕や〔 D 〕の地位は低下することになった。

ア. ジェノヴァ

イ. アントウェルペン

ウ. ノブゴロド

エ. ブリュージュ

オ. ヴェネツィア

カ. リューベック

キ. アムステルダム

ク. リスボン

IV. 次の文を読み、後の問いに答えなさい。

契丹（キタイ）が滅亡して以来、モンゴル高原にはさまざまな勢力が存在していた。そのなかからモンゴル部のテムジンが台頭し、1204年にナイマン王国を討ってモンゴル高原を統一した。1206年に①有力者の集会で大ハンに推戴された②テムジンは、モンゴル・トルコ系諸部族をまとめて大モンゴル国（モンゴル帝国）をたてた。

その後、大ハンに即位したオゴタイは、1234年に金を滅ぼして華北を領有した。新首都カラコルムを拠点にして、オゴタイの命を受けた〔 ③ 〕はヨーロッパに遠征した。〔 ③ 〕は1240年にキエフ公国を服属させ、1241年には一部の部隊が〔 ④ 〕の戦いにおいてドイツ・ポーランド諸侯軍を撃破した。

また、⑤モンゴル帝国は諸ハン国に分かれていたものの、安定した治安のもとでゆるやかなまとまりを保っており、ユーラシア大陸の東西をつなぐ広域な通商・交易圏をつくりあげた。

問1 下線部①について、ハンの推戴など国の重要政策を決定するモンゴルの有力者（部族長）の集会のことを何と呼ぶか、答えなさい。（2点）

問2 下線部②について、1206年に諸部族の統治者として即位したテムジンは、何と呼ばれることになるか、適切な語句を答えなさい。（2点）

問3 空欄③に入るのに適切な人物を、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。（2点）

ア. トウルイ

イ. グユク

ウ. モンケ

エ. バトゥ

問4 空欄④に入れるのに最も適切な語句を答えなさい。（3点）

問5 下線部⑤について、この当時のモンゴル帝国における統治の特徴を、「色目人」「漢人」の語を必ず用いて説明しなさい。（6点）

V. 以下の【史料】および【年表】を参照し、後の問いに答えなさい。

【史料】 人間と市民の権利の宣言（前文は略）

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。
問題文閲覧をご希望の方は、沖縄国際大学入
試センターまでお問い合わせください。**

〔出典：歴史学研究会編『世界史史料6 ヨーロッパ近代社会の形成から帝国主義へ18・19世紀』岩波書店、2007年〕

【年表】

年月	できごと
1789年 5月	三部会が招集される X
1789年 6月	国民議会が設立される
1789年 7月	バスティーユ牢獄が襲撃される Y
1791年 9月	1791年憲法が決議される
1791年 10月	立法議会が成立する Z
1792年 4月	〔 C 〕に対して宣戦を布告する
1792年 9月	国民公会が成立する
1792年 9月	王政の廃止・共和政の樹立が宣言される Q
1799年 6月	第2回対仏大同盟が結成される

問1 フランス革命勃発前のフランスの状況について述べた次の各文のなかで、誤っているものを1つ選び、記号で答えなさい。（3点）

- ア. 聖職者からなる第一身分、貴族からなる第二身分は、免税、重要官職の独占等の特権を有していた。
- イ. シェイエスは『第三身分とは何か』を刊行し、第三身分の権利を主張した。
- ウ. テュルゴー、ネッケルによって、特権身分に対する課税などの財政改革が目指されたが、抵抗にあい、失敗した。
- エ. 招集された三部会では、第二身分・第三身分が一人一票による投票を主張し、国王および第一身分と議決方法をめぐって対立した。

問2 この【史料】が採択された時期として適切な時期を、年表中のX、Y、Zから1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

問3 この【史料】を起草した人物の名前として適切なものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. ラ＝ファイエット

イ. ジェファーソン

ウ. ロベスピエール

エ. ミラボー

問4 【史料】中の空欄A・Bにあてはまる適切な語句をそれぞれ答えなさい。(各3点)

問5 【年表】中の「国民議会」、「立法議会」、「国民公会」について述べた次の各文のうち、適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. 国民議会は第三身分の議員だけで構成された。

イ. 立法議会では立憲君主派（フイヤン派）が主導権を握った。

ウ. 国民公会は男女普通選挙にもとづいて成立した。

エ. 国民公会は、最高価格令による物価統制や封建地代の無償廃止などの経済改革をおこなった。

問6 【年表】中の空欄Cにあてはまる国名として適切なものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. イギリス

イ. オランダ

ウ. スペイン

エ. オーストリア

問7 【年表】中のQの時期におきたできごとに関する次の各文を古い順に並べ替えたとき、3番目にくるものを1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. イギリス首相ピットが主導し、第一回対仏大同盟が結成された。

イ. 総裁政府が成立したが政権は安定せず、民衆の期待を背景にナポレオン＝ボナパルトが台頭した。

ウ. ジャコバン派が都市民衆の支持を得て政治の実権を握ったが、その後、恐怖政治を展開した。

エ. ルイ16世が処刑された。

Ⅵ. 次の文を読み、後の問いに答えなさい。

アジアへのヨーロッパ勢力の進出が本格化するなか、イギリス東インド会社は、1757年の〔 A 〕で〔 B 〕を破り、インドにおける支配的地位を確立する。これ以降、東インド会社はインド内政問題への介入を強めていく。①他方で、イギリスでは工業化が進行しており、インドも世界経済システムに組み込まれていく。イギリスはインド社会を近代化するため現地の制度改革を進めたが、これはインド社会の伝統を破壊するものであり、多くのインド人の反発を招いた。

こうしたなかで、1857年、インド人傭兵が起こした反乱は北インド一帯に急速に広がった。イギリスは反乱をかりうじて鎮圧し、②皇帝を廃位させることで直接統治を開始し、1877年にはインド帝国が成立した。その後、③インドでは民族運動が激化していった。

問1 空欄A・Bに入る用語の組み合わせとして適切なものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

- ア. A: シパーヒーの反乱 B: オランダ
イ. A: シパーヒーの反乱 B: フランス
ウ. A: プラッシーの戦い B: オランダ
エ. A: プラッシーの戦い B: フランス

【図】

問2 下線部①について、イギリスの工業化の進行によって、インドにおける綿布の輸出・輸入構造はどのように変化したか。右に示す【図】を参考にして説明しなさい。(6点)

問3 下線部②について、このとき滅亡した帝国の名称を答えなさい。(3点)

問4 下線部③について、インドにおける民族運動について述べた次の各文のうち、適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. 第二次大戦後のイギリスは、インドに自治を認めるローラット法を施行した。

〔出典:松井透『世界市場の形成』岩波書店、1991年〕

イ. イギリスはヒンドゥー教徒とキリスト教徒の分断を狙ってベンガル分割令を発し、反英運動を弱体化させようとした。

ウ. ネルーら急進派は、1929年の国民会議派大会において完全独立（プールナ＝スワラージ）を決議した。

エ. ガンディーが唱えた非暴力・不服従の抵抗運動は、一般大衆を巻き込むことには失敗し、主に知識人層の間に広まっていった。

著作権承諾上の理由により、図の掲載は控えさせていただきます。
非公開部分については、沖縄国際大学入試センター窓口にて閲覧ください。

Ⅶ. 次の文を読み、後の問いに答えなさい。

第一次大戦中、①イギリスは中東に対して矛盾した外交を展開した。第一次大戦後、パレスチナは国際連盟の委任統治領となった。第二次大戦後、イギリスによる委任統治が終了することとなり、それまで暮らしてきたアラブ人とヨーロッパからやってきたユダヤ移民がそれぞれ独立国の建設を目指した。国連は1947年にパレスチナ分割案を決議した。アラブ側はこれを不当として拒絶し、イギリスはこの問題の解決をはかることができず、一方的に撤退してしまった。その後、イスラエルの建国が宣言され、アラブ諸国との間に②4度にわたる中東戦争がおこった。③それ以降もこの地域における民族間の対立は解消されておらず、現在まで続いている。

問1 下線部①について、第一次大戦中のイギリスの外交政策について述べた次の各文のうち、適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

- ア. フサイン＝マクマホン協定によって、オスマン帝国に領土の保全を約束した。
- イ. サイクス＝ピコ協定によって、アラブ人に戦後の独立を約束した。
- ウ. バルフォア宣言によって、パレスチナにおけるユダヤ国家建設の支援を約束した。
- エ. 中東分割の秘密協定として、フランスとの間にセーヴル協定を結んだ。

問2 下線部②について、中東戦争について述べた次の各文を、できごとの古い順に並べ替えなさい。(完全解答3点)

- ア. アラファトがパレスチナ解放機構の議長に就任した。
- イ. ナセルによるスエズ運河国有化をきっかけとして、戦争がおこった。
- ウ. イスラエル側が国連決議の割り当て以上の多くの領土を獲得した一方、多くのパレスチナ難民が生まれた。

問3 下線部③について、イスラエルとパレスチナの相互承認などを内容として、1993年にアメリカのクリントン大統領の仲介によって結ばれたものの名称を答えなさい。(3点)

